

『第9回女子硬式野球西日本大会』大会規定

【1】大会規定

1. 2023年度公認野球規則に準じる。その他の大会特別規定は、本規定に準じる。
2. 攻撃時の投手に代わるDHの採用を認める。
[DH] 指名打者
英語「Designated Hitter」の頭文字から DH と略記する。攻撃時に投手に代わって打席に立つ打撃専門の選手を指す。ソフトボールには任意の野手に代わって打席に立つ打撃専門の選手として指名選手[DP:Designated Player]があるが、これとは異なる。(DP はどのポジションの野手でも構わないが DH は投手代理に限られる)
3. 大会形式は予選トーナメント戦及び順位別トーナメント戦とし、両日とも全試合 5 イニング制とする。5 回終了後、同点の場合、6 回に限りタイブレイクを行い、それでも同点の場合は、主将による抽選とする。

《特別延長戦》全日本女子野球連盟内規(2023年度)

女子硬式野球では、各大会の規約・申し合せ等の定めにより次の「延長回に関わる特別規約(タイ・ブレイク)」を適用することができる。

[1] 延長回に関わる特別規約(タイ・ブレイク)

- ①各大会規約等により定められた回の攻撃を終了し、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、無死走者一、二塁の状態から継続打順にて行うこととする。
 - ②この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が1塁走者、1塁走者の前の打順の者が2塁走者となる。
 - ③この場合の代打及び代走は認められる。
4. 試合は 4 回終了にて成立。降雨により試合継続が困難となった場合、4 回に達していない場合は審判員が協議の上、大会審判長の権限・判断により対応・処理する。
 5. 決勝戦を含む全ての試合において、3 回終了時点で 7 点以上の得点差がある場合にはコールドゲームを適用する。
 6. 審判員は 3~4 人制。広島県野球連盟、広島県軟式野球連盟北部支部三次の審判員が担当する。**なお、会場により、塁審に限りMSH男子硬式野球部が担当します。**ご理解下さい。
 7. アピール権は監督及び当該選手が行う。尚、選手交代や試合中のタイムも同様とする。
 8. 監督及び監督の指示によるグラウンド内進入は、ファールラインを超えたか否かを基準として[試合中攻撃時]3 回まで[守備時]3 回まで[1 回につき]1 分以内とする。
 9. 突発事故による一時的な代走を認める。この場合、原則として(投手・捕手を除き)前回の最終打者が臨時走者を務める。

10. その他の競技規定は、特に問題が生じた場合には、審判団と主催者が協議して決定する。

【 2 】 危険防止のため次の用具を使用する

1. ヘルメットは必ず着用し、打者・次打者・走者は全員着用する。
2. 試合に用いる各用具及びバットは、硬式野球用の用具を使用しなければならない。
3. ウエイトイングサークルでの素振りはバット及びマスコットバットの使用を認め、鉄棒(鉄パイプを含む)及びバットリングは使用してはならない。
4. スパイクは、金属スパイク及びポイント式の何れも使用を認める。

【 3 】 競技運営に関し、次のことを規定する。

1. 試合ベンチは、対戦表左側のチームが1 塁側ベンチ、もう一方が3 塁側ベンチを使用する。
2. 先攻後攻の決定、メンバー交換は第1 試合は試合開始予定時刻の30 分前、第2 試合以降は前の試合の3 回終了時に各球場本部にて行う。その際、メンバー表4部(ふりがなを付けること)を提出して登録メンバーの照合を受けること。
3. 背番号は算用数字で0 番からとし、その着用に際し特に規定・制限は設けない。
4. 試合前のアップは、各チームが球場外の任意の箇所にて、他の迷惑とならないように行うこと。
5. 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合の開始を早める場合がある。またその逆に、前の試合が延長された場合、次の試合時間が遅れる場合がある。
6. 雨天の場合でも、球場が使用可能な状態の場合は原則的に試合は行う。
7. 両日とも全試合5 イニング制で行う。5 回終了後、同点の場合は6 回に限り、タイブレイクを行い、それでも同点の場合は、各チーム主将による抽選を行う。
8. 試合前ノックは、行わない。